

# 関東ふれあいの道を歩く 13 神奈川 (⑬山里から津久井湖へのみち)

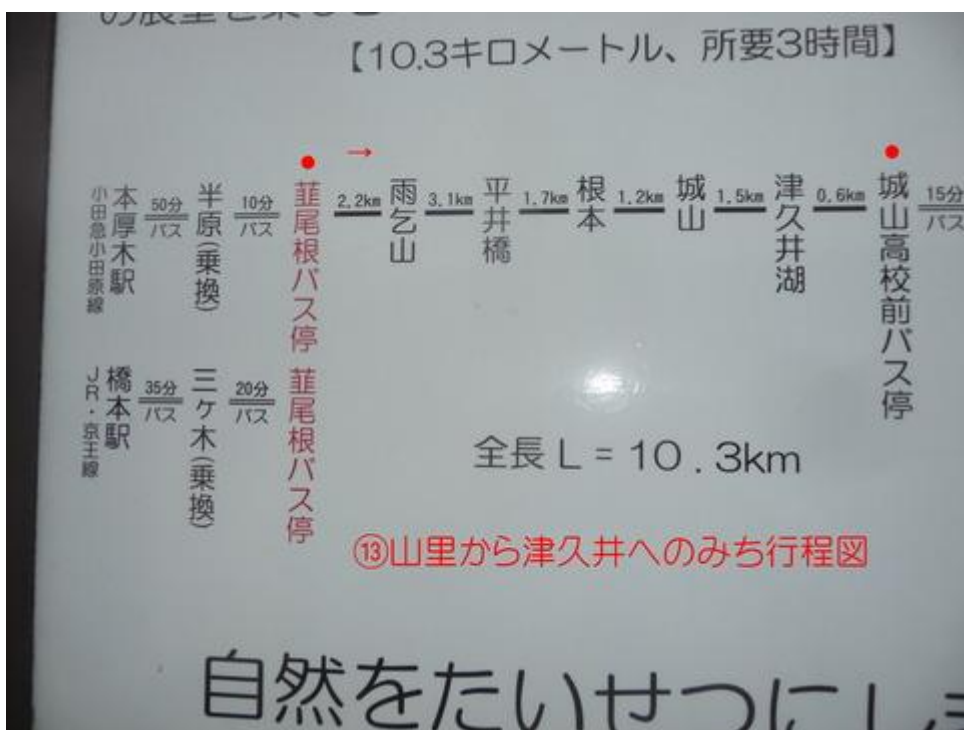
2019年10月7日 池内 淑皓

2019年9月1日(日) 晴れ、残暑が厳しい日であったが、夏山の気分で歩いた。  
 小田急本厚木駅からバスで半原に出て、葦尾根と言うバス停から歩き始め、小さな山(430m)を一つ越へ、津久井城址を経て、城山ダムに到る10km、約3時間(公称)のコースである。  
 氷を魔法瓶に一杯詰めて、スポーツ飲料と水、合計2Lをザックに入れて出発。



(首都圏自然歩道協議会)

関東ふれあいの道を歩く 13 神奈川 (⑬山里から津久井湖へのみち) 概念図



⑬山里から津久井湖へのみち 約10kmの行程図



今日の出発最寄り駅は、小田急線 本厚木駅



本厚木駅 6:50 分のバスに乗ると、50 分程で半原に到着。ここで三ヶ木行きのバスが待っているから 7:55 発の乗り継ぎで韮尾根に向かう。



5 分程の乗車で、韮尾根バス停に着く（歩くと上り坂で約 20 分程、夏はきつい）





バス停から 50m程戻ると、山に向かう路地角に道標と案内板があるから、確認して行こう



「⑭北条武田合戦のみち」が南から合してくるから、道標通りに山を目指して行く



畑道が途切れると林道となり、熱風から一転涼やかな風が吹いてくる





雨乞山1kmと石の表示板で、これから歩く方向を確認する



尾根への出会いには石標も建つ、Uターンするように北に向かう



「雨乞山（429m）」尾根上の高さのない変哲な頂上だ、ベンチもない





海拔 140mにある明日原集落に向かって、少し急な尾根を下る



途中には快適なベンチと指道標が完備しているから、楽しい里山歩きが楽しめる



明日原集落から望む平井と根小屋の集落。遙か後方の山並みは、午後から登る峰の薬師への山並み。





ふれあいの道は、谷にある平井の集落で一旦バス通りに出て、今度は根古屋集落に向かう



「城山公園」 関東ふれあいの道は城山（津久井城址）に登って、津久井ダムに向かっている



城山を目指して、男坂を歩き頂上を目指す（女坂もあるが遠回りになる）





「築井城社の記念碑」



「堀切跡」城は呂の字の形に形成され、本城曲輪と飯縄曲輪に分かれている。その連絡路の間に敵を止めるための堀切がつくられた。



「城山山頂」津久井城本城曲輪跡



戦国時代には武田軍への最前線基地として機能した。北条氏に仕えた内藤氏が城主であったが、天正18年（1590）豊臣秀吉の小田原城攻めで落城した。江戸時代には廃城となり、麓に陣屋が置かれた。



折角だから記念に一枚バチリ



「飯綱曲輪」 呂の字の反対側の曲輪跡。城は鎌倉時代に三浦党の築井氏が築いた城で、別名築井城とも云われる



「烽火台」南の小田原方面に向かって開けている





「宝が池」 当然城の飲料水、枯れることがないと云う



「大杉」 樹齢900年を数えた城山のシンボル、平成25年落雷により焼失



「津久井ダム」(城山ダム) 昭和40年(1965) 相模川を堰き止めて完成させた多目的ダムで、洪水調節、川崎・湘南地方への上水道、工業用水として利用される。揚水発電ダムとしての機能も持つ





⑬山里から津久井湖へのみちのゴール地点。城山高校前バス停 12：05 到着。

[コースタイム]

本厚木駅 (6：50) →半原バス停 (7：40-7：55) →蕪尾根バス停 (8：10) →雨乞山 (9：05)  
→無料庵バス停 (10：30) →城山頂上 (11：40-12：00) →津久井ダム (花の園地) (12：45) →  
城山高校前バス停 (13：05)                      21,000 歩   14.7 k mであった                      この項完

関東ふれあいの道を歩く 14 神奈川 (⑩峰の薬師へのみち) に続く